

子どもたちの想いをカタチに！～第1回ワークショップを開催しました



事務局：Fax:015-576-3772
Email:kodoomo.info@gmail.com
担当：関谷(080-1883-6476)

1月25日（水）、子どもたちの町おこし提案の実現に向けた町民ワークショップが開催されました。総勢15人の町民が集まり、これまでの提案をグループ分けしたり今後への意気込みを話したりしました。座長の高室智全さんと副座長の北村昌俊さんはもちろん、参加者たちも「これは町の業者さんの協力で実現できそうだね。これも！」と大盛り上がり。提案の実現を通じて町内外の人々が交流を育み、また子どもたちが夢と希望を抱いて暮らせる浦幌町になるように、これからも引き続きワークショップを重ねていきます！ワークショップにご参加頂ける方を随時募集いたしておりますので、ご興味ある方はいつでもご連絡ください。高校生の参加も大歓迎！

新しくできた絆。そして子どもの願いがカタチに！～民泊体験物語



浦幌町では現在小学校5年生に農林漁家での1泊の生活を体験してもらっています。じゃがいも堀りや秋鮭の解体作業、牛の餌やりやお家でのお手伝い、夕食作りなどを通じ、町内の大人との新たな絆を育んでくれ始めています。今後は農家や漁師のおじさんから分けてもらった食材を使っただけの家庭科実習などの事後学習も計画中！浦幌は高い食料自給率を誇る日本の食料基地です。浦幌に生まれ育ったことに誇りを持って大人になってほしいです！

実はこの民泊体験の際に子どもたちから、被災地支援のアイデアが出されました。そして元コンサドーレの曾田選手がその想いを受け、南三陸町と気仙沼に浦幌からの農水産物を届けてくれました。届け先のひとつとなった南三陸町立志津川小学校の子どもたちから後日メッセージが届きました！



1年間活動を手伝ってくれた大学生が東京に帰京。

昨年4月から東京の大学を休学されていた本木美穂さんが大学に戻られます。

<本木さんメッセージ>

大学生の本木美穂です。初めての酪農実習、初めての農山漁村での暮らし、と毎日が「初めて」尽くして瞬きした瞬間に1年間が過ぎてしまった感覚です。代々受け継がれた地で食を育み、町を築いている町民の皆さんとの出会いは、深い学びとなり、また心が温かくなるものでした。

ここでの1年間は、とてもかけがえないものです。浦幌町のみなさん、本当にお世話になりました。そしてありがとうございました！また遊びに来るので、その時はどうぞよろしくお願いたします。

